

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月25日更新

事務事業名		青年農業者クラブ活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	立山 和文
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	橋本 育将
	基本事業	32	後継者の育成			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10277	法令根拠	成果優先度評価結果	⑦
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農村青年同士が、仲間作りや、農業技術の習得、農業の改良等の実践を通し、社会に役立つ人間形成を目指すもの。平成18年度に農業関係機関へ呼びかけ、青年農業者の自発的設立に至る。市の農業活性化(仲間作り・生活環境・農業所得等)のための施策であり、異業種間の情報交換や仲間作り等が来ている。
【業務の流れ】	団体からの申請事務(申請書の確認、起案、決裁)
【主な予算費目】	報償費及び補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特に意見や要望は聞かれない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	学習活動、他地域の青年農業者との交流会への支援	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		学習活動、県外研修等の農業技術修得のための支援 事業申請受付から補助金確定までの一連事務
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア 4Hクラブ員数	人	
→ イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市内の4Hクラブ会員	→ ア 農業技術の習得が出来たと答えた人数	人
	→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
会の活動や会員交流により農業技術の習得を支援する。	→ ア 農業技術の習得が出来たと答えた割合	%
	→ イ	
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
クラブ活動を通じ、毎年農業者としての成長を期待するため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア 人		19	16	20	16	20	20	20	20	
	イ										
②対象指標	ア 人		19	15	16	16	17	20	20	20	
	イ										
③成果指標	ア %		100	93.8	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	95	90	100	90	90	90	90	90
		(A)事業費計	千円	95	90	100	90	90	90	90	90
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
人件費	延べ業務時間	時間	54	54	54	92	90	90	90	90	
	(B)人件費計	千円	214	222	222	371	370	370	370	370	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	309	312	322	461	460	460	460	460	

事務事業名	青年農業者クラブ活動事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 クラブ員確保のためのクラブの活動内容の周知が不足していると思われる。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 若手農業者にクラブの活動内容を理解してもらい、勧誘を行う。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 青年農業者クラブ員を増やし、更に活動を活発にし、より農村活性化を進展させる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似の事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 活動費の助成であり、青年農業者の交流促進や研修のため必要である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 職員のかかわりは最小限度であり削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 青年農業者の研修等経費の一部助成であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 青年農業者の育成という面からその活動費の一部助成であり、行政のかかわりは必要である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

次の世代の農業を担う青年農業者が知識や経験を取得するためには、新しい取組みを積極的に進める必要が有る。行政も積極的に後押しをすることが重要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市の基幹産業の担い手として自分達のスキルアップのために何をすればいいのかを自分達で考え実行してもらう必要がある																					